



【読書】キャラクター「おっほん」

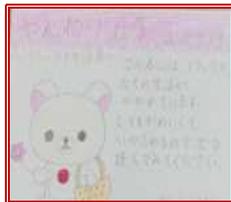
おっほんシート

札幌市立幌北小学校ひまわり分校 札幌市立北辰中学校ひまわり分校

読書センターとしての機能

【文化委員会活動】

文化委員会の活動の一つとして、図書委員がおすすめ本を紹介する活動があります。各委員が勧める本のあらすじやイラストの入ったポスターを作成し、分校に通う児童生徒が少しでも本に親しみをもてるよう活動しています。



【購入図書希望のリクエスト】

読みたい本のアンケートを年に2回行っています。アンケート用紙は図書委員が作成しています。



学習センター・情報センターとしての機能

【調べ学習、探求学習の強い味方!】

ひまわり分校では、毎週木曜日 5 時間目「総合学習」の時間があります。年間を通して「情報教育」「福祉健康」「国際理解」「キャリア教育」「環境教育」「中継授業」などがあり、学校にある書籍や Chromebook を利用して事前学習や事後学習に役立てています。今年度1回目の「国際理解」では、ドイツの先生に来校してもらいました。事前学習では、ドイツの食べ物などをドイツの文化を中心に調べたことをまとめました。授業に参加した後は、事前に調べたこと以上に知らなかったこともたくさんあり、事前学習の仕方なども含めて調べ学習の振り返りを行うことができました。



【朝読書の紙芝居】

朝読書の時間を利用して、中学生がグリム童話のお話「キツネとネコ」を英語で読み聞かせをしました。小学校高学年の児童と教職員数名が参加しました。日本語で聞いたことのある話を英語で聞くとによって、英語の言い回しや内容がスムーズに理解できるのではないかと思います。紙芝居をきっかけに英語の本にも興味関心をもつ機会となることを願います。



【郷土資料コーナー】

ひまわり分校の図書スペースには、北海道やアイヌの歴史が学べるような書籍が何冊か揃っています。児童生徒が郷土について学べるよう図書の配置が工夫されています。